



【支援企業紹介】 ②

## 株式会社 北上エレメック

### 技術革新と連携で、 競争の時代をリードする

平成27年度いわてものづくりアカデミーのご案内 ④

第20回いわて希望ファンド助成金 ⑤  
第17回いわて農商工連携ファンド助成金

刈谷展示商談会 ⑥

平成26年度岩手／首都圏商談会の開催報告 ⑥

平成26年度第2回  
「加速器関連産業参入セミナー」の開催報告 ⑦

北東北3県域アバレル企業  
ビジネスマッチングフォーラムを開催 ⑦

第42回岩手県の物産と観光展  
(名古屋丸栄展)を開催 ⑧

第44回大いわて展(東京高島屋展)を  
開催します ⑧

### 北上エレメックの これがポイント!

プラスチック射出成形のための金型と完成品。金型は上下運動のみならず内部での複雑な動きを司る「機構」があるため、小さな部品でも形状が複雑であれば金型は大型化する。経験と技術がものをいう世界だ。



## 事業カレンダー

いわて産業振興センターに関連する事業紹介です

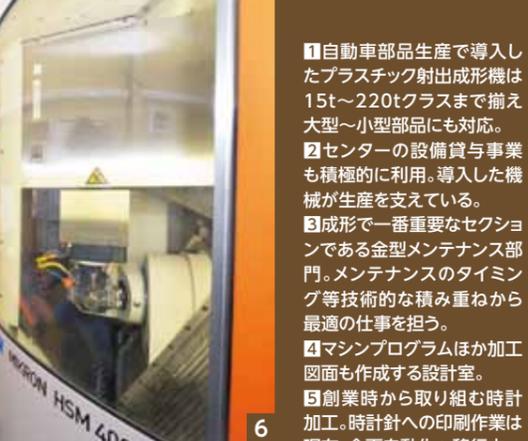
# 3月 [MARCH]

3日~6日 FOODEX JAPAN (幕張メッセ)

27日 工程改善研修会 活動報告会

# 技アリ!

いわての仕事録



- 1自動車部品生産で導入したプラスチック射出成形機は15t~220tクラスまで揃え大型~小型部品にも対応。
- 2センターの設備貸与事業も積極的に利用。導入した機械が生産を支えている。
- 3成形で一番重要なセクションである金型メンテナンス部門。メンテナンスのタイミング等技術的な積み重ねから最適な仕事を担う。
- 4マシンプログラムほか加工図面も作成する設計室。
- 5創業時から取り組む時計加工。時計針への印刷作業は現在、全面自動化へ移行中。
- 6昨年2月、岩手県内で初めて導入された5軸マシニングセンター。回転やねじりなど複雑な形状の加工が可能。
- 7外周研削盤や底面研削盤など、さまざまな機械加工に対応する加工機が揃う。
- 8機械化が進んだとしても目視は必須。加工された製品は精密検査室で全品チェック、顧客へと送られる。
- 9アルミ飲料缶の金型は超硬合金を使用。人工ダイヤで正確に切削していく。

## 競争の時代をリードする 技術革新と連携で、

代表取締役社長 菅原 康裕

### 【支援企業紹介】北上市 株式会社 北上エレメック

#### 高度な機械加工技術を武器に 顧客のあらゆる要望に応える

昭和40年代は、日本工業が従来の鉄鋼や石油化学などから組立加工などの機械工業へと変化していった時期である。北上市に本社をおく北上エレメックも昭和48年、前年に創業した関連会社の北上精密とともに時計部品加工からスタートする。以来2社は連携しながら、時代に合わせ事業内容を変化・拡大させてきた。

50年代は半導体の時代である。同社もいち早く参入するが、組立加工のみならず金型部門や装置メンテナンス部門までも立ち上げてしまう。「これが他の機械装置にも展開でき、社内

実力の向上に繋がった」と菅原康裕社長は振り返る。昭和61年にプラスチックの金型設計と射出成形を開始すると、わずか数年でコネクタ成形組立にも進出。一方の北上精密も、超硬合金を使用した金型製作に県内でいち早く取り組んでいく。その実績が評価され、平成18年にはアルミ缶用成形金型の製造を県内で唯一開始した。「メーカーで1年の研修をし、設備ごと岩手へ移管されました。寸法精度などの厳しい要望にも、当社で蓄積してきたメンテナンス技術で対応できました」。北上精密の小原初弘社長が胸を張る。

「顧客の要望を実現するためには顧客から教えてもらうことです」。菅原社

北上市で創業して40年余り。今や時計部品から自動車関連部品まで、北上エレメックの作る製品は多岐に渡る。顧客に学び、企業同士の繋がりを大事にする同社の戦略を菅原康裕社長に伺った。

【いわて産業振興センターの活用実績】  
レーザー溶接機ほかの設備貸与や取引あっせん、生産改善指導などを通じ企業体制を強化。さらに会社の実力を上げていくために研修制度などの充実を希望している

長がきっかけと話すように同社では客先研修などを行い、メーカーや協力企業へ積極的に働きかけてきた。その中でニーズの掘り起こしと技術革新に努め続けてきたのだ。

#### 自動車産業参入、工場買い取り 業界再編の今こそ攻めの姿勢で

現在は「金型事業」「射出成形や金属プレス等の量産体制」「装置メンテナンス」を事業の3本柱とし、金型から製品提供、さらには自社内で装置製作も行えるまでに。だが菅原社長はさらなる連携を探り、平成16年に経産省のモデル事業採択を受けて市内の同業会社2社と自動車部品の協同受

注グループ「プラ21」を設立した。「そもそもは2000年代の半導体不況を受け、自動車業界への糸口をつかむため取り組んだもの。ただ自動車の場合、従来の設備では対応できない大型部品もあり、設備投資をしながらの展開でした」。その挑戦は実を結び、シート周りなど多くの自動車部品の供給が始まっている。

挑戦はこれにとどまらず、昨年2月には宮城県亘理町にある日立マクセルの袖ヶ沢工場を買い取り、一眼レフカメラ等の光学レンズ鏡筒部品の製造を開始。アルミ缶金型と同様に大きな事業移管だが「こういう『事業丸ごとを受けて欲しい』という要望がたまにある」と菅原社長。金型から装置のメ

ンテナンスまで行える同社だからこそ、メーカーも事業を託すのだろう。もちろん、この宮城工場からも自動車関連部品の供給を目指している。「宮城という立地と、光学関係の高い金型技術は大きな宣伝材料。我々の技術の幅が広がり、顧客の要望にもっと応えられる」と菅原社長は期待している。

「日本工業界は今、再編の真っただ中にあります。仕事のボリュームが減り、より高度なものが求められる中では、単独ではなく中小企業同士が手を結び、技術レベルでの連携や仕事上の情報交換を積極的に行っていくなくては」。菅原社長は厳しく、その先を見つめていた。

情報を受けて 与えることが仕事獲得への一歩

短納期・低コスト・高品質というニーズに応えるためには技術の向上は必須ですが、仕事そのものを逃さないためには共同で受注し、互いの技術を補うなど企業同士が手を組む必要性もあると思う。そのためにも情報を受ける・与えるのキャッチボールも大事にしています。

#### 技アリ!ポイント



株式会社 北上精密 代表取締役社長 小原 初弘

#### 企業データ

会社名 株式会社 北上エレメック  
本社 北上市鬼柳町都鳥133  
電話 0197-67-3231  
代表者 菅原 康裕

創業 昭和48年(1973年)3月  
従業員 125名  
業種 プラスチック金型設計製作・加工  
URL <http://www.kitakami.ne.jp/~ksnet/vflame7.html>

# 平成27年度 いわてものづくりアカデミーのご案内

いわて産業振興センターでは県内中小企業の人材を育成するため、  
企業の管理者・後継者・製造現場スタッフ等を対象に、各種セミナーを開催します。ご参加をお待ちしています。

## 中堅管理者・後継者養成講座

企業が繁栄・存続していくためには、将来にトップを支えることとなる中堅管理者と後継者の養成が不可欠の条件となります。  
この講座では、管理者・後継者に要求されるテーマを「経営理念・戦略」「計数の理解」「リーダーシップ」の3つに絞って指導します。

**テーマ** 中堅管理者の立場と役割、環境の変化と企業の対応、経営理念と経営戦略、会社で使う計数の基礎、リーダーシップ、部下指導  
**講師** ㈱MELソリューション 安田 芳樹、㈱MELコンサルタント 渡辺 晴樹  
**日程** 平成27年9月9日・10日、10月15日・16日、11月12日・13日  
**会場** 雫石町・ゆこたんの森ほか  
**受講料** 1名につき50,000円(税込)

## 管理者のための生産管理セミナー

企業が継続して利益を確保していくためには、お客様(取引先様)に満足してもらうことが、重要な条件となります。  
本セミナーでは、お客様(取引先様)が満足するQCDを維持、提供していくために必要となる生産管理の考え方を講義と演習で学んでいただきます。

**テーマ** 生産管理とは、生産計画の流れ、生産統制とは、多品種少量生産の生産管理、生産管理とリードタイム、生産方法の違いについて演習による体験  
**講師** 経営コンサルタント 齋藤  
**日程** 平成27年7月9日・10日  
**会場** 盛岡市・岩手県工業技術センター(予定)  
**受講料** 1名につき10,000円(税込)

## 品質管理中級セミナー

品質管理と品質保証は奥の深い世界であり、加工の難易度、材質の問題、精度等刻々変化するものづくり現場に対応して管理手法や検査手法も不断のレベルアップを図る必要があります。  
本セミナーでは、最新の品質管理の進め方や、大手メーカーに対して確実な品質保証ができるレベルの管理技法を指導します。

**テーマ** 品質管理の必要性・考え方、TQMの進め方、トラブル解決法・標準化、各種管理・検査手法  
**講師** 玉川大学経営学部 教授 大藤 正  
**日程** 平成27年8月26日・27日・28日  
**会場** 北上市・北上オフィスプラザ  
**受講料** 1名につき15,000円(税込)

## 品質管理基礎講座

品質管理の徹底は、不良・クレームの減、ムダ作業の減、コスト減、生産性・信頼性・受注能力向上、体質改善等々、経営全般に著しい効果があり、取引先・社員・経営者の全ての利益に直結します。  
本講座は、基礎的な品質管理を確実にできる人材の育成を目指します。

**テーマ** 挨拶と管理前のかんり、整理整頓と人間関係、品質管理とは、データの取り方他  
**講師** 経営コンサルタント 内山 昭夫  
**日程** 平成27年5月21日・22日  
**会場** 北上市・北上オフィスプラザ  
**受講料** 1名につき10,000円(税込)

## 次世代リーダー養成講座

中小企業を支えるのは結局のところ「人」、人財です。当コースは入社10年後、20年後に幹部として活躍する次世代の若手リーダーを対象にした1泊2日の研修です。「部下育成」や「コミュニケーション」の基本を学び、職場での「問題解決力」を高める体験型・参画型の講座で次世代リーダーを鍛えます。

**テーマ** 部下育成、コミュニケーション、リーダーシップ、問題解決  
**講師** ㈱エム・イー・エル 佐藤 康二  
**日程** 平成27年7月23日・24日  
**会場** 八幡平市・八幡平ハイツ  
**受講料** 1名につき15,000円(税込)

## 現場管理者・リーダーのための 原価管理とコストダウンセミナー

企業間の競争が厳しい今日、製造現場において日々のコストダウンは言うまでもありません。しかし、「改善をしても思うようにコストダウン効果が出ない」、「コストダウンテーマに困っている」などをよく聞きます。  
本セミナーでは、コストダウンをして会社の利益を創出するために必要な現場管理の進め方について学びながら、生産現場でコストダウン活動を具体的に進めていく手法を講義と演習を交えて学んでいただきます。

**テーマ** 原価のしくみ、コストダウンの定石、究極の材料費と加工費の追求  
**講師** ㈱MEマネジメントサービス 大塚 泰雄  
**日程** 平成27年10月29日・30日  
**会場** 盛岡市・岩手県工業技術センター(予定)  
**受講料** 1名につき10,000円(税込)

## 工程改善基礎講座

近年のものづくりでは、世界経済の影響を受ける中で、より一層ムダ・ムラ・ムリを排除した効率的生産が求められています。  
本講座では、作業効率向上等に対応した工程改善のポイントについて伝授し、改善取り組みへのきっかけづくりを行います。

**テーマ** 参加企業の現状分析と問題点のとらえ方、モデル作業の改善、改善を継続するポイント他  
**講師** (株)アドバンス経営 中田 耕治  
**日程** 平成27年6月17日・18日  
**会場** 北上市・北上オフィスプラザ  
**受講料** 1名につき10,000円(税込)

## 平成27年度いわてものづくりアカデミーの体系図



※宿泊料等はお問い合わせ下さい。 ※当センター賛助会員の方は2割引で受講できます。

申込・問合せ先 産業支援グループ TEL:019-631-3823 FAX:019-631-3830

募集中です

3/2[月]~  
3/30[月]まで

希望ファンド小規模事業者枠は  
3/23まで

## 第20回 いわて希望ファンド助成金

## 第17回 いわて農商工連携ファンド助成金

### いわて希望ファンド 地域活性化支援事業

県内中小企業等の革新的・個性的な取り組みにより、地域経済の活性化を図るため、創業、経営革新、中心市街地活性化に向けた取り組みなどを支援します。

#### 起業・新事業活動支援事業

創業・起業や経営の革新に資する中小企業等の以下の取り組みを支援

市場調査・動向調査、新商品・新技術・新役務の開発または事業化、販路開拓、人材養成等

対象者	県内に事業所を有する以下の者 ●創業する者 ●中小企業者 ●特定非営利活動法人(NPO法人) ●農事組合法人等			
	①一般枠 起業または新事業に取り組む事業	②地域資源活用枠 (地域資源を活用する事業)	③経営革新枠 (経営革新計画の承認を受けた事業)	④小規模事業者枠 (従業員5名以下の事業所で起業または新事業に取り組む事業)
助成限度額	300万円	300万円	500万円	150万円
助成率	1/2	2/3	3/4	3/4
助成期間	1年間(※継続2年以内(毎年審査))			

#### 中心市街地活性化支援事業

中心市街地や商店街の活性化に向けての革新的な以下の取り組みを支援

市場調査・動向調査、新商品・新役務の開発または企業化、販売促進・販売力強化、業種構成再編・遊休資産活用等

対象者	●中心市街地の活性化に関する法律第15条第1項各号に掲げる者 ●小売・サービス業を営む県内に住所のある中小企業者等 ●商工会、商工会議所、商店街振興組合、事業協同組合 ●知事が適当と認める特定非営利活動法人(NPO法人)
助成率	9/10 (店舗賃借料については、「店舗賃借料/月×月数(助成対象期間×1/3)」の算式によって算出された額の9/10)
助成限度額	250万円
助成期間	1年間(※継続2年以内(毎年審査))

#### 支援機関による支援事業

中小企業者が実施する起業・経営革新等を支援する事業を行う支援機関の取り組み支援

## いわて農商工連携ファンド 地域活性化支援事業

本県の地域経済の重要な担い手である農林水産業と中小企業者との連携(農商工連携)を強化し、相乗効果を発揮していくことで地域経済の活性化を図るため、中小企業者と農林漁業者の連携体が行う創業や新たな事業展開等を支援します。

#### 起業・新事業活動支援事業

中小企業者と農林漁業者が連携をして行う下記の事業を支援

- ①新商品等開発支援事業(新商品・新技術・新役務の開発事業)
- ②販路開拓等支援事業(販路開拓事業)

市場調査・動向調査、新商品・新技術・新役務の開発  
または事業化、販路開拓、人材養成等

対象者	●県内の中小企業者と農林漁業者の連携体 →農林漁業者とは、農業、林業、漁業を行うもの及びこれらの組織する団体(農協、森林組合、漁協、連合会も可) ●中小企業者以外で、県内のNPO等と農林漁業者の連携体
助成率	4/5
助成限度額	600万円 (農商工等連携事業計画の認定を受けている場合は助成限度額1,000万円)
助成期間	1年間(※継続3年以内(毎年審査))

#### 支援機関による支援事業

農商工連携による起業・新事業活動等を支援する事業を行う支援機関の取り組みを支援

#### 農商工連携の基本的要件

- 有機的連携** 中小企業者と農林漁業者が有機的に連携し、それぞれの経営資源を有効に活用すること  
◆「有機的連携」とは、通常の事業範囲を超えて両者が連携することを指します。  
◆「経営資源を有効に活用」とは、両者の有する設備、技術、個人の有する知識及び技能その他ビジネスノウハウ、知的財産等が、本事業を実施するために具体的、かつ有効に用いられていることを指します。
- 新商品の開発等** 事業により、新商品若しくは新役務の開発、生産または需要の開拓が実現すること  
◆「新商品若しくは新役務(サービス)」とは、事業実施主体にとって、これまでに開発、生産したことのない新たな商品または役務であることが必要です。

#### 農商工連携の事例～お菓子の開発～

**中小企業者(菓子メーカー)**  
もち米である古代米、低アミロース米の米粉を使用し、試作品の製造、サイズ、パッケージ共に平泉に結びつけるデザインの開発。展示会における市場調査、販路拡大活動を行う

**連携**  
それぞれが工夫を凝らした取り組み!

**農林漁業者(農業者)**  
古代米を米粉に加工(品種の選定と製粉条件)、低アミロース米、うるち米といった食感の異なる原材料も検討。事業化された事により古代米に新たな活用・販路が生まれた。

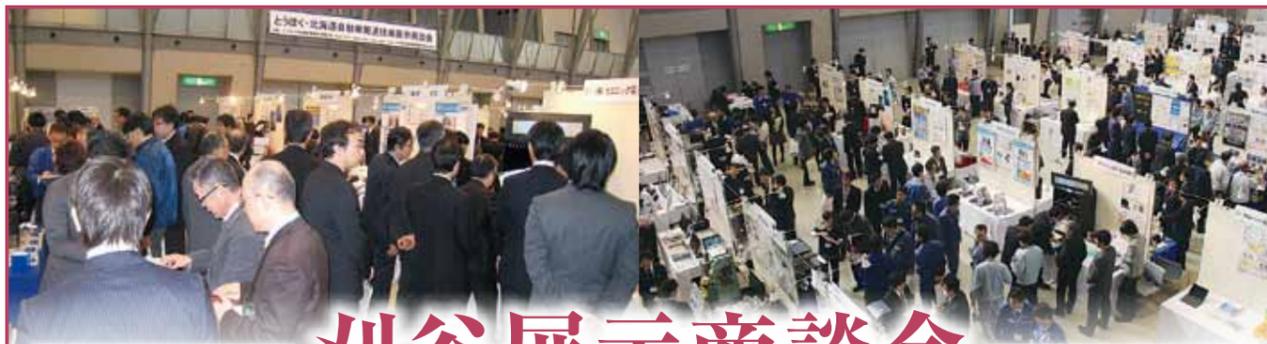
**新商品開発!**

平泉の「世界文化遺産」登録を目前に商品開発を構想。「平泉と「古代米」という共通した歴史イメージをもつ素材を組み合わせて考案された事業化に至った。商品名「パッケージデザイン」等も同様のイメージから開発された。

お問い合わせ  
お申し込みは

産業支援グループ

(いわて希望ファンド担当/福島 いわて農商工連携ファンド担当/伊藤利光)  
TEL019-631-3824 FAX019-631-3830 メール joh@joho-iwate.or.jp  
※応募を希望される場合は、事前相談が必要になります。



## 刈谷展示商談会

2月5日(木)、6日(金)の両日、愛知県刈谷市の刈谷市産業振興センター「あいおいホール」において、『とうほく・北海道自動車関連技術展示商談会』が開催されました。平成19年から東北6県が連携し毎年開催しているトヨタグループ向け商談会として8回目となりますが、今年から「とうほく自動車産業集積連携会議」へ新潟県が加入した他、北海道との合同により8道県へ拡大しての開催となりました。

各道県からの出展企業数は合計84社に上り、うち本県企業は最多の12社が出展しました。開催期間中、東海地

区に本社・拠点を構える自動車メーカーや大手サプライヤーの役員及び社員を中心に2日間合計で1,400名を超える来場者を迎え、また、地元のテレビ等のメディアも取材に訪れるなど活況を呈しました。

来場者は、普段あまり接することのない東北・北海道地区の企業が有する技術等について出展企業へ詳しく説明を求める場面が見られるなど、会場内のいたるところで情報交換や商談が行われました。当商談会は、トヨタグループに向けて技術等をアピールできる数少ない機会であり、今後も継続して取り組んでいく予定です。

【主催】●とうほく自動車産業集積連携会議(青森県/岩手県/宮城県/秋田県/山形県/福島県/新潟県) ●北海道自動車産業集積促進協議会

本県出展企業

- |                |                         |                              |
|----------------|-------------------------|------------------------------|
| (株)アイカムス・ラボ    | 東北日発(株)                 | (株)ミクニ 盛岡事業所                 |
| (有)サワ          | (株)ナテック 岩手工場            | ゆわて吉田工業(株)                   |
| 三共化成(株) 陸前高田工場 | (有)日三エンジニアリング           | 吉川化成(株) オプト事業部               |
| (株)デジアイズ       | 日立オートモティブシステムズハイキャスト(株) | リコーインダストリアルソリューションズ(株) 花巻事業所 |

## 平成26年度第2回「加速器関連産業参入セミナー」の開催報告 (加速器製造に関わる要素技術の分析及び県内企業の加速器産業への参入可能性調査事業 報告会)

2月16日(月)ホテル東日本盛岡を会場に平成26年度第2回「加速器関連産業参入セミナー」(加速器製造に関わる要素技術の分析及び県内企業の加速器産業への参入可能性調査事業 報告会)を開催しました。

当センターでは、岩手県から「加速器製造に関わる要素技術の分析及び県内企業の加速器産業への参入可能性調査事業」を受託し、加速器関連の製造工程の分析、工程ごとに求められる技術や必要となる機械・設備等の内容、県内企業の加速器産業への参入可能性について調査を行っており、参入セミナーは、報告会を兼ねて開催したものです。

セミナーでは次のとおり講演と報告を行いました。

### 【講演1】「ILC関連CFS(土木・施設工事)の現状と課題」

【講師】大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構 特別技術専門職 宮原 正信 氏

### 【講演2】「ILC全体準備状況」

【講師】大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構 先端加速器推進部・リニアコライダー計画推進室 室長・特別教授 山本 明 氏

### 加速器製造に関わる要素技術の分析及び県内企業の加速器産業への参入可能性調査事業 最終報告

【報告者】公益財団法人いわて産業振興センター 科学・技術コーディネーター 大森 健一

### 「いわて加速器関連産業研究会(仮)の設立について」

【説明】岩手県 政策地域部 科学ILC推進室

### 質疑及び意見交換

【司会】公益財団法人いわて産業振興センター 科学技術コーディネーター 大森 健一

【講師】大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構 名誉教授 東北大学・岩手大学 客員教授 吉岡 正和 様

参加人数は、産学官合わせて143名となり、参加者からは非常に有益であったとの声が多く寄せられました。

平成27年度も「いわて加速器関連産業研究会(仮)」で引き続き県内企業の加速器関連産業への参入を支援してまいります。



## 平成26年度 岩手／首都圏 商談会の開催報告

平成27年2月13日に東京都港区芝公園の「機械振興会館」において加工分野を特定した商談会を開催しました。参加企業は、発注企業21社、受注企業26社で147件の商談が行われました。

この商談会は、平成24年までの2年間行われた被災地支援のための大規模商談会(東京都中小企業振興公社主催、中小企業庁主催)が終了したために、県内中小企業の商談機会を増やしたいと考え、昨年度に引き続き開催したものです。

今回は、面談時間を1コマ20分とし、じっくり商談できるようにしました。また対象業種は、発注企業からの外注品目が多い「鋳物・機械加工・プレス・板金・成形」としました。

商談会では、加工サンプルや会社案内を持参するなど積極的に自社の技術をアピールし、熱心に商談を行っていました。

今後、参加頂いた企業のアンケートをもとに、さらに改善を加えながら今後商談会を開催していきたいと考えております。



## 北東北3県域アパレル企業 ビジネスマッチングフォーラムを開催しました

2月19日、二戸市「二戸パークホテル」にて、北東北3県のアパレル関連のものづくり企業の交流促進と、首都圏等発注企業との取引の活性化を図る催し「北東北3県域アパレル企業ビジネスマッチングフォーラム」を開催しました(主催:岩手県北広域振興局、(公財)いわて産業振興センター)。

本フォーラムは、「メイド・イン・ジャパン」にこだわった製品づくりを志向する首都圏等の発注企業に対し、質の高いものづくりを提供する北東北のアパレル企業をアピールすること、3県企業間の連携・情報交流を目的としたもので、今年で5回目の開催となります。

当日は、受注企業21社(岩手県20、青森県1)と、首都圏等の発注企業23社、ならびに関係者が出席しました。

今回も、受注企業と発注企業の個別面談を中心に、情報交換をはじめ、具体的な案件について商談されたところもありました。

会場内では受注企業のサンプル等を展示するコーナーも設置し、発注企業へ自社技術をアピールする場として、また受注企業同士でもお互いの技術について情報交換する場として活用されました。

個別面談の後の懇親会においても、面談できなかった企業と名刺交換を行ったり、活発に他社との交流が行われていました。

縫製の国内回帰の動きも見られる中で、このフォーラムを機会に、北東北3県の縫製企業の活動がより活性化されることを期待しています。



# 第42回 名古屋丸栄展 岩手県の物産と観光展を 開催しました

平成27年2月4日(水)～9日(月)の6日間、愛知県名古屋市丸栄百貨店8階大催事場において「第42回 岩手県の物産と観光展(名古屋丸栄展)」を開催いたしました。

(株)丸栄創業400周年を記念した今回は、達増知事と村上弘明「いわて☆はまらいん特使」が、オープニングで来場者200名に陸前高田産りんごを使用したりんごジュースをお配りしたほか、達増知事と村上特使と河村名古屋市長によるトークショーも開催され、賑やかなオープニングとなりました。

村上特使いち押し「岩手☆はまらいん弁当」の特別販売や「村上特使推奨県産品」販売、創業400周年を迎える菊の司酒造(株)の記念日本酒「平井六右衛門」の販売を行ったほか、特別企画お客様参加プログラムとして「南部煎餅手焼き体験」「東山和紙の紙漉き体験」「いわてワカメ湯通し体験」を行いました。

会期中、岩手県のPRキャラクター「わんこきょうだい」が日替わりで5体全員登場したほか、岩手県北自動車(株)のバスガイドさんに、開港400周年を迎える宮古港周辺を中心に観光PRを行っていただきました。出品企業54社で、売上金額は37,970千円となりました。



## 第44回 大いわて展(東京高島屋展)を開催します

平成27年4月15日(水)～平成27年4月20日(月)まで、東京都日本橋高島屋8階催事場において、「第44回 岩手県の物産と観光展(大いわて展)」を開催いたします。

新たな商品を重点的に取り上げながら、県内の特産品を販売することとしています。また2016年に世界遺産登録から5年となる平泉を中心とした観光PRも行う予定です。皆様のご来場をお待ちしています。

